

令和7年度 第1回 福岡高等学校運営協議会 会議録

1 日 時 令和7年6月17日(火) 14:30～16:00

2 会 場 第2会議室

3 参加者 計16名(委員6名、教職員10名)

4 次第 進行：全日制副校長 記録：定時制副校長

次 第	時刻	担当者	内 容
1 開 会	14:32	(定)副校長	
2 校長挨拶	14:34	校長	・R7年度入学生、全日制82名、定時制7名。生徒数減少により様々な面の影響があるが、全日制運動部や文化部、定時制行事などで地域との取り組みを行っている。今後も本校の良さをアピールしたい。 <全日制> ・今年度県高総体剣道女子優勝しインターハイへ出場。東北大会へは陸上、弓道が出場。水泳も期待される。 ・R6年度進路実績、国公立大学へは57名進学。医学科3名、国際教養大1名など。就職した生徒は地元で頑張っている。 <定時制> ・R6年度進路実績、就職2名、専門学校5名。 ・自己肯定感向上が課題。そのため5月に初めてニノガーデンで園内整備を行い、充実した取り組みを行った。また、生活実態アンケートでは、学年が上がるにつれて肯定的回答が増えている。 ・全日制・定時制ともに昨年度から情報発信に力を入れている。 ・本日は各課取組方針(案)の承認と、忌憚のないご意見を頂戴したい。
3 出席者 自己紹介	14:40	全員	学校運営協議会委員→教職員の順
4 協議 (1) 学校経営計画(説明)	14:53	校長より	・改めて2月に承認いただき、県へ提出した内容を確認いただきたい。 <全日制> 情報発信を重点的に行っていく(R6年度大きく改善)。更に、この学校運営協議会での意見を実現させ、様々な形で地域・小・中・高の連携を図る。 <定時制> 自己肯定感の向上を目指す。現在、学年が上がるにつれて満足度が高くなっている。全日制から転籍した生徒も生き生きと過ごしている。
質疑			
(2)			

重点目標と 取組方針 (協議) 質疑 (各委員 より)		(定)教務主任	・各行事を地域と協働しながら行っている(月に1度くらい)。 ・部活動、今年度卓球・バドミントン頑張った。高総体への参加者が増えた。 ・現3年生進路希望：進学5名、就職3名。
		(定)副校長	・高総体二部バドミントン、学校対抗第2位。 ・二戸市役所より連絡があり、二戸市合併20周年キャッチコピー応募作品の中から、定時制1年の作品が最優秀賞になり、7月に表彰されることとなった。
		(全)教務主任	・総探で地域と協働。考えた案を実現するために地元企業とのやりとりも予定している。 ・ICT対応をこの数年間行ってきた(生徒向け・教員向け)。また、生成AIの活用方法も学んでいる。
		生徒指導主事	・生徒が満足できるような取り組みを大切にしている。 ・R6年度の生徒大会で服装の見直しが提案され、生徒がプレゼンした内容が学校で認められ、生徒主体で動くことの大切さを生徒が実感した。 ・いじめ等について、生活アンケートなどで組織的に対応している(年4回)。
		進路指導主事	・人間性を高め、キャリア教育につなげている。 ・3年生の推薦希望生徒には全職員指導の体制をとっている。 ・外部の進路関係の行事に参加するよう声がけしている。
		総務主任	・PTA会報を年2回発行している。 ・note(本校SNS)の更新を行っている。 ・今年度、PTA総会+進路講演会を合わせて実施。大変好評だった。
		保健厚生主事	・生徒課とタイアップ、教育相談的アプローチを行っている。 ・R7年度、いじめの報告はない。
		委員A(意見)	・不登校生徒への対応、大変素晴らしい。同時に支援がありすぎる事への若干の不安もある。バランスをとっていくことが大切。
		校長	→レジリエンスが大切。全日制から定時制に行き、好転している理由は、自己実現と外部環境とがかみ合っているからかもしれない。
		委員B(質問)	福岡中学校以外の中学校との取り組みはあるか。
		校長	→現在は福岡中学校だけ。非公式には総探などで個々の生徒が取り組んでいる事例もあるようだ。

		委員D(質問) 全日制 →現在はない。各校では多々見られるようだ。昨年度いくつかのトラブルが発生した。 校長 →4月に情報モラル講演会を実施した。 定時制 →今年度は特にない。ただし、使用に関して気をつけていく必要がある。 委員E(意見) 校長 →高校では1年次の家庭学習習慣の確立が大切だが、勉強のための勉強だと続かない。中学校から意識付けをしていただいていることが大変ありがたい。 全ての取組について委員から承認された。
5 意見交換	15:32	委員F ・高校時代を振り返ると、先生とともにあった(過ごしていた)記憶がある。是非これからも、生徒にも誇りを持たせ続けて指導いただきたい。 委員A ・若いうちに地元を好きになると帰ってくる割合が高くなるのではないだろうか。現在金田一温泉ではその一助になるようなプロジェクトを考えている。 世界は近くなっている。いろんな方法で交流できるので、子ども達のアイデアを是非お借りしたい。 委員B ・(仕事上)本校に福祉の立場で来ることもある。生徒に関して、家庭環境の影響が大きいと感じている。何かあればお声がけいただきたい。 委員C ・本校への入学生についてどう捉えたら良いか考えている。プラスに考えれば個々への手厚い指導が可能となる。一方マイナスに考える方も多いと思われる。 子ども達の声聞き、ニーズに合った学校作り(つまり生徒が来たくなるような)をしていく必要がある。 ・県で教員志望の生徒に対して学校を見学するシステムを行っている。市としても是非バックアップしたい。 ・本校ポスター、凄く良いが、是非もっと子ども達が行くような場所に掲示してほしい。 委員D ・今後も「通って良かったな」という学校であってほしい。 委員E ・地域とのつながり、互いにwin-winでできる何かがあればと考えている。参考になることがあれば是非やりとりさせていただきたい。

6 その他 [4分]	15:50	校長挨拶 ・ 本日の会議でいただいた意見を大切にしていきたい。 ・ 魅力ある場所が世界から見ると、まさか、という場所がそのような場所だったりする。その価値付けを考えている。 ・ 以前勤めていた地域では地域の祭りを小中高生とその日戻ってきた方々で支えていた事例がある。向き合い方を考えていく必要がある。 ・ 少子化はどんどん加速する。今の体制では限界があると考えている。ハード面＋ソフト面。特にソフト面の充実が大切である。ソフト面の＋αを考えていくことが求められる(例：進学に軸足を置き、地域で頑張っていく生徒を育てるなど)。 ・ キャリア教育こそ中高連携が必要かもしれない。二戸市だからできることをやっていきたい。 (全)副校長 1 次回の開催は2月の予定。 2 福陵祭(8月31日(日))、学校へ行こう週間(12月)について案内を送付予定。
7 閉 会	15:58	(定)副校長